



「社協」とは、社会福祉協議会の略称です。
〒082-0014
北海道河西郡芽室町東4条4丁目5番地
芽室町保健福祉センター（あいあい21）
☎62-1616 ☎62-1657
芽室町社会福祉協議会公式HP
<https://www.memuro-syakyo.jp/>

芽室町社会福祉協議会は、地域福祉事業と介護保険事業が一体となり、「支えたり」「支えられたりする」地域共生型のめむろの実現を目指します。

地域福祉推進課、介護事業課で構成されています。

訪問介護事業所
（ホームヘルパー） ☎29-1192
居宅介護支援事業所
（ケアマネジャー） ☎29-1193
小規模多機能型居宅介護事務所
ふたば ☎66-9009



メムちゃん フクくん

なごみ食堂あらため『メムフク食堂』開店！

だれもが安心して暮らすことができる、思いやり・支え合う地域づくりを目的に、気軽に立ち寄り食事もできる交流の場の取組みとして「メムフク食堂」を開催します。

お気軽にご参加ください！

対象 概ね60歳以上の方
日程 9月2日(火)

10時30分～14時
(出入り自由)

場所 共生型施設ふれあいサロン

内容 食事(カレーライス)

健康相談

介護相談ほか

参加費 無料

定員 50人 ※先着順

申込締切 8月22日(金)

※送迎が必要な方は
ご相談ください。



善意に厚く
感謝いたします

・川角 順一様
100,000円
(妻の死去に際して)

『成年後見制度個別相談会を開催します』

成年後見制度のこと、自分自身や家族のこと、相談してみませんか？

日程 8月27日(水) 14時～

場所 芽室町保健福祉センター
2階「憩いのサロン」

料金 無料

相談員 弁護士 佐々木 誠氏
(まこと法律事務所)

※先着順で3組までの相談を受付けます。希望者は事前にお申し込みをお願いいたします。

地域福祉基金助成事業の後期募集を行います

地域福祉基金の2回目の募集を、9月1日～9月30日の期間で行います。

対象事業

- ①在宅福祉の普及及び向上
- ②健康及び生きがいづくりの推進
- ③地域福祉の推進など

このような地域福祉の向上を目的とした単年度(短期)の事業が対象です。

「ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。」

ふれあい広場 2025 令和7年 9月27日(土) 10:00～13:00



今年の会場は「芽室町健康プラザ」です。
ステージをはじめ、介護福祉機器の展示・体験、福祉事業所の展示即売会、ワークショップやふれあい体験広場など、楽しい催し盛りだくさんです。会場外には飲食販売ブースもあります。
※詳細はチラシ等でお知らせします。

「心配ごと相談」に相談してみませんか？

あなたの・家族の心配なこと、不安なこと、困ったこと、悩みごとなどお気軽にご相談ください！

8月27日(水)

専門相談員：栗栖尚子さん

若狭富美子さん

9月10日(水)

専門相談員：佐々木晴彦さん

栗栖尚子さん

時間 13時15分～15時30分
場所 保健福祉センター
2階「静養室」

◎相談内容等、個人情報保護は厳守します。
◎月2回、おおむね第2・第4水曜日に開設しています。

芽室町介護予防ポイント

ボランティアをして「ボイ活」しませんか？

★65歳以上の町民の方が、ボランティア活動に参加すると、ほほえみ手帳に活動のポイントが付与され、Mポイントに交換することができます！
★無理をせず、自分の体調に合わせて参加してみませんか？
興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

赤い羽根共同募金 芽室限定ピンバッジ

今年度の「ご当地ピンバッジ」は、芽室高等学校美術部にデザイン作成をお願いしました。

デザイン作成者であります美術部長笹金由愛さん(3年生)にお話を伺いました。10線防風林を背景に芽室の特産品(スイートコーン・ビート・小麦)を入れ、大地の恵みを表現したデザインになります。笹金さんから、「芽室町の良さを知って欲しい!!」との想いから作成し、芽室町のPRと同時に募金にご協力できればと話しておりました。

*500円以上の募金につき、おひとつ進呈いたします。現在、芽室町共同募金委員会事務局窓口(社会福祉協議会)で取り扱いを始めております。



右 木村社協会長
左 笹金美術部部长

シリーズ かいごのひとりごと ep4

ナスやキュウリの馬に乗って「ご先祖様が帰ってくる」と言われるお盆。仏壇に手を合わせたり、お墓参りをするのは、昔から大切にされてきた日本の風習です。ご先祖様を想うことで、今の自分や家族のつながりを感じられる…そんな時間、最近ちよつと減っていませんか？
実家に帰って親や家族と会うお盆は、介護や今後の暮らしについてお話しするチャンス。そして、お墓参りや昔の話をきっかけに「あのときは嬉しかった」「あの人は優しくかったね」なんて会話が生まれることも。

「お盆で想うこと」



こつた昔の思い出を語るとは「回想法」と呼ばれ、認知症の予防や進行を緩やかにする効果もあるんです。
また、仏壇に毎日お参りすることが習慣の方は、日々のリズムを整える役割や心の安定につながっている場合が多いです。特に認知症のある方にとっては、そういう行動が日々の生活にハリを持たせ、長年親しんできた行動が安心感をもたらすことも少なくありません。
お盆のちよつとした時間を、親や家族と一緒に思い出に行ったり、思い出話を聞いたりするだけでも、心のつながりや安心感が生まれますよ。
忙しい毎日だからこそ、こつた時間を意識してみるのもいいかもしれませんね。